

# Global Enterprise Challenge 2014 参加

社会科教諭 帖佐香織

## 本校生徒7名、Global Enterprise Challenge (GEC) 2014 国内予選を1位通過し、ドイツ・マインツでの世界大会に参加！

GECは、青少年のイノベーションへの興味を喚起するために、16歳から19歳までの青少年を対象に、2001年に始まった国際イベントである。昨年は、17か国からの参加があり、私の印象は、「世界の同世代の青少年が、同じ課題に対して、本気でビジネスプランを考え、競い合うイベント」。

GECは、国内予選と世界大会からなり、具体的なプログラムは、規定時間（12時間以内）に、与えられた課題について最良かつ採算のとれるビジネスプランを考え、A4・2枚の企画書と3分間のビデオプレゼンテーションを作成するというものである。創造性、革新性、実現性、市場性、コミュニケーション能力などの観点から審査がおこなわれ、国内予選上位のチームが、世界大会に進むことができる。

挑戦する課題は、環境、福祉、教育など世界的に共有されている社会問題で、ビジネスプランのコンペティションというものの、利益を出すことだけに重点を置いたものではなく、課題の性質上、ソーシャルビジネスのプラン構築が指向される。

本校では参加メンバーを公募し、応募者には課題提出の上、校内選考を実施した。選考された7人のメンバーは、3月21日におこなわれた国内予選を1位通過した。課題は「気候変動やそれによる災害に対応したビジネス」で、ITとグローバル展開が必須条件であった。それに対し、同志社国際チームがつくったプランは、スーダンに食物をつくるためのプラントをつくるというもので、プラン加盟国にGDPに応じた分担金を保険料として払ってもらい、そのかわりに加盟国の緊急時、そこでつくられた食物を受け取れる、というものだ。スーダンはナイルの水源があるものの、社会情勢は良いとはいえない。中東の産油国が自国の農地にするためにアフリカの土地を買い漁っているという動きをもふまえた提案で、課題の解決に加え、

現地での雇用を生み出す効果も考えられる。プラントでは、気候変動の影響を最小限に抑えられるよう、IT技術を駆使した水耕栽培を計画し、様々な食物の栽培可能性を模索した。

6月14日には世界大会で世界の高校生と共に競ったが、インターネット参加のカンボジアの Sisowath High Schoolが最優秀賞を獲得した。“family farming”が課題で、この学校がつくったビデオはGECのサイトで見ることができるが、現時点でのカンボジアの課題への解決策と普遍的な政策を提示するものであった。この学校はフランス保護領時代からある Franco-Cambodian School であるが、このような経験を通じ、世界ではさまざまな学校でさまざまな生徒たちが学んでいることを実感できればすばらしいと思う。

さまざまなバックグラウンドをもち、本校で自由にのびのびと学ぶ生徒たちは、今回も互いに協力し、気遣い合い、その様子はこちらの予想を超えてすばらしかった。英語でのチャレンジだが、Gクラスの生徒も果敢に挑み、英語の得意な生徒は彼らのためにさっと日本語に訳すこともあるが、その様子はとても自然である。また、こうした経験を通じ、生徒たちは「何か大切なもの」を学んでいく。高校1年生で入学したある生徒が、この学校で生徒はリスペクトし合い、先生に感謝していると言っていたが、今回も生徒たちは私に心からの感謝を伝えにきてくれた。ドイツに行く前に、世界大会参加渡航費調達と、予選で芽生えたスーダンへの問題意識から、スーダンへの寄付のため、生徒はスクールグッズの販売を企画した。ここでも予想を上回る多くの方々の協力を得ることができ、何とメンバーの一人にスーダンからの帰国生である高校1年生からFacebookを通してメッセージまで届いた。

世界はさまざまな人がかかわりあってできていて、その世界で他者と共に生きるために、私たちは何ができるのか。どのような力を身につけなければならないか。私も、生徒たちとともに探し続けたいと思っている。



本校での国内予選 @Communication Center  
慣れた場所での作業なので、スムーズ！



作業中はいつも真剣な表情です。@世界大会



マインツの大自然でリラックス。  
こういう時間にいいアイデアもうまれるでしょ  
う！忙しい生徒たちにとっては貴重な時間です。



時間との闘い、とにかく協力するしかない！  
@世界大会



ウェールズ、ノルウェーの高校生と。  
初夏の野外の気持ちいい空気のなか、みんな、  
いい笑顔です。 @マインツ



マインツは中世において神聖ローマ帝国選帝侯を  
輩出した重要都市の1つ。  
グーテンベルクの活版印刷術博物館や、シャガール  
の青のステンドグラスが有名な教会もある。  
マインツ大学は同志社大学と派遣留学協定を結ん  
でいて、卒業生も留学しています！